

読む人の  
幸せを  
心に願って  
作る

no.524

# 喜びの タネまき 新聞



写真・市谷 健「来年、もう1回着たいけど、だめ？」

## 受け継ぐ人たちに

おかげさまで、来年でダスキンは創業して五十年を迎えます。お客様へお伺いしている加盟店も、ほとんどが三十年から四十数年、営業を始めた初代から息子や娘が引き継いでいる店が多くなりました。そんな後継者たちが集まる会に寄せてもらい、悩みを抱えた発言や、自分の町でたしかに評価を受けた喜びを語る声を聞きながら、店を継ぐとは、何を継承していくことだろうかと考えていました。

時は移り、世の中には様々な商品やサービスがあふれ、ダスキンでもモップやマットからドーナツ店、家事のお手伝いや介護用品のレンタルなどへ分野を広げています。注文もネットでは三五五二四時間受けられる時代になった。しかし、決して失ってはならない事がある。経営理念に「他人に対しては喜びのタネをまくこと」という言葉があるのですが、私たちの歩む道は、ひたむきに「喜びのタネをまき続ける」ことです。それには、「自分の事を二の次に出来る人」、「他人に対して思いやりのある行動が出来る人」をたくさん育てる事です。

大切なのは「人」、そんなことを思っていました。ダスキンがこれからお客様に支えられ、それぞれの町で育てていただけるかどうかは、この若い人たちいかに、「他人を思いやる優しい気持ち」が大切とはあたり前の言葉だが、ダスキンフランチャイーズチーンは、そのように行動できる実践集団でありたい。

株式会社ダスキン社長

山村 輝治

楽しんで一服しながら、ちょっとした時間に気持ちのリラックス。体力も回復している。寒くなる前に、活力を高めたいですね。

# 「お茶の時間」

よくお茶を飲む。コーヒーに、ウーロン茶や紅茶、近頃はマテ茶も。もちろん緑茶は日常茶飯。そうか、お茶好きなんだと気付く。よく考えたらコーヒーは茶葉ではないが、「お茶の時間」には欠かせないものだ。

お茶は中国が発祥の地で、発音も日本語と同じ。広東語に由来する「チャイ」は、西域の陸路を経て「チャイ」と呼ばれ、アジアや中近東の国々に広まった。

もうひとつが「ティー」という福建省の方言からきたもの。こちらは海路によりヨーロッパに伝わり、「ティー」あるいは「ティー」と呼ばれた。どちらにしてもお茶の呼び名として世界に広がった。

ほくにとつては「チャイ」がなつかしい。いわゆる煮出した茶葉にミルクをたっぷり入れたもので、主にインド、ネパールなどでよく飲まれている。これにスパイスを加えたマサ



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。



ラチャイはさらに旨味を増す。ヒマラヤ山麓を旅したときに、チャイはかせない飲み物だった。ほかのような旅人だけでなく、地元の人々も要所所にある茶店に立ち寄りチャイを楽しみに一服する。食べ物もそうだが飲み物も、その国に合ったものが文化になっていくものだ。チャイは、標高が4000メートル以上になるともう必需品だ。高山の乾燥した風土に合わせるようにバター茶に変わり、はじめはコッテリしすぎかと敬遠したが、飲んでみるとこれが元気の源になるから不思議だ。5600メートル近くまで登れたのも、このヒマラヤのお茶の時間のお陰かもしれない。手間はかかるが、ふだんの山登りにも必ずお茶の一式を持っていく。コーヒーのときもあるが、寒くなるとミルクを使ったチャイも作ったりする。お茶を飲むと、旅の思い出もふとよみがえってきたりする。さて仕事もあと少し。そろそろお茶にしようか。「コーヒーをもう一杯」そんな時間がほくは好きだ。



## ひとくちサイズがうれしい「小町麩のカナッペ4種」

高タンパク、低カロリーの小麦を使つて、4種類のカナッペを作ります。パーティーのオードブルやお酒のおつまみ、子供のおやつなど用途はいろいろ。お麩は水で戻さず、そのまま使うので調理も簡単。何個でもいけちゃいます。

お料理研究家 こいけりえ

## おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



●オリーブオイルペース2種(10個分) フライパンにオリーブオイル大さじ1と2分の1を入れて、少し温まったところにやき麩を10個入れ、バターのときと同様に両面を揚げ焼きにする。明太子小さじ1と2分の1、マヨネーズ小さじ1を混ぜ合わせディップを作る。 焼き上がった麩5個に、明太子ディップをのせ、上からパセリをトッピングする。 残りのお麩にはおろしニンニク少々をぬり、その上から、アンチョビペーストをぬる。



みてもらおう！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。

「だあいすき」 広島県福山市 藤川ゆかり

フード双子ちゃん 宮城県岩沼市 宍戸道子

飛ぶゾー♪ 鹿児島県南九州市 西迫まち子

東北を歩こう！

山形県 最上ソーン

【新庄雪まつり】 2013年2月9日(土)～10日(日)

新庄の冬の一大イベント。巨大雪像展示、雪上相撲大会、雪玉合戦、キャラクターショー、ものがみのうまいものを集めた「新庄食楽(くら)市場」など他にもイベントが盛りだくさん。夕方は雪像のライトアップ、やコンサート、花火大会、お祭燈の奉納も行われます。

◎場所 山形県新庄市堀端町4-74 最上公園一帯

◎問合せ先 新庄雪まつり実行委員会 電話：0233-22-6855

http://www.visitjapan-tohoku.org/





いちよう

福岡県糸島市 藤田有子

息子が小学生だった頃は、よく宿題を手伝った。国語の短歌の問題をしていた時だった。『金色のちひさき鳥のかたちして 銀杏ちるなり夕日の岡に』

出題された短歌のあまりの美しさに、2人とも動けなくなった。そのとき初めて、与謝野晶子の歌だと知った。夕日に照らされて染まった岡に、金色の小鳥のように、いちようがいっせいに舞い落ちる。それを感じると息子の心配が伝わってきた。私もしんとした気持ちになった。『美しいね』

そう言った息子の言葉が忘れられない。中学生になった息子の宿題を手伝うことはもうないが、いちようを見ると、息子も『金色の小鳥』を思い浮かべるのでしょうか。――秋の金色の翅に……



カレーとみそ汁

富山県射水市 田所てる子

家族が大好きなカレーをつくっていたら、ふと義母のことを思い出しました。義母のつくるカレーは、具材が細かく切っており、サイコロのように形もキッチンとそろって、ルーは柔らかい。それに比べると、私のは大ざっぱで、具が大きくコロコロしていて、こってり。みそ汁も義母は具が1〜2種類であっさりとしンプル。私はとても欲張りで栄養をたっぷり取りたいので、具たくさん。「こった煮みたいね」と義母とよく笑っていました。家族からは、性格丸出しで、一目で誰がつくったのか分るとひやかされてきました。

久しぶりに、義母のようにキッチンと形をそろえて、カレーをつくってみると、懐かしくなりました。次の日はあっさりしたみそ汁もつくってみました。きっと義母も天国で「何をしているの」と笑っていてくれるでしょうね。――忘れられないあの味。



あぶらんけ

茨城県土浦市 林伸子

寒くなって、南天の赤い実を見るたびに、祖母との懐かしい思い出がよみがえってくる。

幼かった頃、私は祖母と暮らしていた。ある朝、「ばあちゃん、ゆうべ怖い夢を見たんだよ」と泣きながら話すと、祖母は庭の隅の南天の木の下に私を連れて行き、手を合わせて、

「ゆうべの伸子の夢は、天の猿さまにお渡しします。あぶらんけ、あぶらんけ」と三回唱えた。私も祖母の真似をして、小さい手を合わせて礼をした。なぜかホッとして安らぎを感じたように記憶している。

しばらくして母にその話をすると、「猿は想像上の動物で、夢を食べて生きていると言われている」と教えてくれた。祖母は、その話を知っていたのかしら。南天の下で手を合わせた後の祖母の笑顔と安らぎが、今も心に残っている。――このおまじない、色々だけと各地にあるよ。



大きくなっても

和歌山市 前田幸都

8歳と2歳の姉妹は6歳差。妹は、まだはつきりと言葉が話せず、話が伝わらないと怒ったり、泣いたりし、「待ってね」と言っても全く聞きません。

そんな毎日の中、親が「もう、いい加減にしないさい!」と怒って部屋から出すと、大泣き。すると姉が、宿題をしていた手を止め、何も言わず妹のところへ。「どうしたの?こわかったの?大丈夫だよ」と抱きしめ、泣き止ませて、それからおんぶしてニコニコ顔で部屋に帰ってきました。勝手をする妹に、辛抱強く接してくれることがしばしばです。

日々の暮らしの中で、イライラする時やつい怒ってしまう時、大人は忙しさを理由に、子供の「今」を見逃しているのかもしれないですね。8歳の娘に教えられる毎日です。――なるほど。幼い子は今を生きているのです。



似たものどうし

福岡県飯塚市 村瀬朱実

小学唱歌の『ふる里』の歌詞に「うさぎ追いかの山」とある。48歳になる娘は子どもの頃、この歌の「追いし」を「美味し」と間違って解釈し、うさぎはおいしいんだと思込んで大きくなり、あるとき歌詞を目にして、自分の間違いに仰天したと打ち明けてくれた。

実は私も子どもの頃、美空ひばりの『悲しき口笛』の「丘のホテルの赤い灯も」の一節をラジオで耳にして、「赤い灯も」を「赤い紐」と信じきって歌っていた。高校生の兄に、子どもが大人の歌うたうんじゃない、と言われたことを今でも思い出します。歌詞を耳から覚えて、意味もわからず歌っていた。母と娘で同じことをやっていたのかと大笑いでした。――あ、たのしー!



アカンベエ

徳島県松茂町 近藤清子

四歳になる孫の目が充血していたので眼科に連れて行きました。カルテを書いているのか、下を向いた先生が「痛くないようにするから、アカンベエしてくれる」と言われました。すると、孫の前にいた看護婦さんがクスクスと笑いをこらえているのです。孫を見た先生が、

「アカンベエはそうだよ。でも舌を出さなくてもいいからね」とおっしゃいました。孫は懸命に舌を出したり、入れたりしていました。そんな素直な面もある孫も、最近反抗期にさしかかったようで、「バアちゃん、一人で出来るから、あっちへ行つて」との連続です。生意気な口をきいても、内心では孫の成長を喜んでいます。――「せんせいって、むずかしいこと、言うんだなあ」

燈々無尽

おばあちゃんと公園遊び



福島市 佐藤伊美子

損をしてもよいと覚悟すれば

わたしは「損の道をゆくこと」を創業の決意にあげていますが、人からは「損と得とあれば、ボクは得をとるよ。どうして損するの?」と聞かれました。「誰もが損などしたくない。そこで損をしないための、争いがおこります。自ら正しい道を歩みながら、なお、損をしてもよいと覚悟すれば、人と人との争いはなくなるのではないのでしょうか?」と答えました。

鈴木清一

愛の輪

誰もが心地よい暮らしをつつ

from AINOWA

第8回 手話に方言はあるの?

地域の方言があったり、料理の味付けも各家庭で違いますね。手話も同じで家族や地域の人とのやりとりから独自に育まれた豊かな表現があります。例えばデパートという手話。東京ではお金を渡しておつりをもたらう動作とビルの形で表現しますが、大阪では百貨店の頭文字をとって数字の百とビルの形で表します。地域特有の手話を調べてみるのも面白いですよ。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 HP (http://www.ainowa.jp/)

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。

🌱 **エコな取り組み ~兵庫県豊岡市~**  
**自然豊かな姿を取り戻そう!**

国の特別天然記念物**コウノトリ**が息できる環境づくりを目指して、兵庫県豊岡市では農薬や化学肥料を減らす米づくりが広がっています。除草などの手入れは大変ですが、子どもたちによる調査でもたくさんの生きものが確認されています。一度は姿を消した**コウノトリ**ですが、今では60羽以上に増えました。



●ダスキンでもさまざまなエコ活動を実践中。webで「ダスキンのエコ」を検索してね。

**ダスキンのお客様係募集中!!**

詳しくはwebで

お客様係

検索



携帯からも  
アクセス

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。

●この新聞をお届けしているのは

**お楽しみクイズ**

兵庫県豊岡市などにいる  
国の特別天然記念物の鳥は?



トリ

正解者の中から30名様に  
**「キッチンきれいセット」を  
プレゼント!**



下記の要領でご応募ください。

- ハガキに  
①クイズの答え ②郵便番号 ③住所  
④氏名 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号  
⑧ご利用のダスキン店名  
⑨この新聞内で好きなコーナーをご記入の上、  
下記あて先までお送りください。
- クイズ専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。  
〒163-0265 住所は不要です。  
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.524」  
クイズプレゼント係
- 締め切り 平成24年12月28日(金)当日消印有効
- ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
(平成25年1月中旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。  
今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。  
no.522のクイズの答えは「75(%)」でした。

株式会社 **ダスキン**  
発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-33  
編集：「喜びのタネまき新聞」編集室  
〒163-0223  
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)  
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771  
【お客様の個人情報の取り扱いについて】  
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。  
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。  
■ダスキンコールセンター  
**0120-100100** www.duskin.jp